

## 柿田 和美 議員



### 一括質問方式

- ①命を守る取り組み
- ②人に優しいまちづくり
- ③プレミアム付商品券発行事業

### 命を守る取り組みについて

**問** 7月7日は追悼式が行われるが、豪雨災害の教訓を忘れないように、また市民が同じ思いで生涯忘れない日として、市で一斉の防災訓練や避難訓練の実施など、南海トラフ地震への心構えを確認する日としても7月7日を「大洲市防災の日」と定めてはどうか。

**答** 7月7日が大洲市にとって忘れてはならない日であることを改めて心に刻むため、亡くなられた

方々に対し黙祷をささげ、また災害に対する備えを心新たにしてい取り組んでいただくために防災訓練を実施するなど、7月豪雨災害を忘れないための取り組みを進めたいと考えていますが、「大洲市防災の日」の制定については、今後議会をはじめ、広く市民の皆様のお考えを伺いながら慎重に検討させていただきたいと考えています。

### 人に優しいまちづくりについて

**問** 現在、ひきこもりは長期化、高齢化が進み、40歳以上の人が全体の30%を占め、平均ひきこもりは19年以上に及ぶとされている。親亡き後、生活困窮者となる可能性も高く、将来において福祉財源の危機にもなりかねない状況も考えられる。市としても、真剣に課題解決に取り組むべきと考えるが、現在のひきこもりに関する相談や支援体制の状況についてお聞きする。

**答** ひきこもりに関する相談や支援体制については、保健センターでの窓口相談や、生活困窮者自立相談支援事業を社会福祉協議会に

委託し、ひきこもりやニートなど、生活に困っている方が抱える様々な問題に対応し、自立した生活が送れるよう支援する窓口相談を設置しています。

県では、愛媛県心と体の健康センター内にひきこもり相談室を設置して、関係機関によるネットワークを構築し、相互の連携と支援情報の共有を図っています。さらに、八幡浜保健所では、電話や来所での相談を受け、内容に応じて訪問や適切な関係機関につなげるなどの支援をしています。また、NPO法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会の支部として松山市に愛媛県こまどりの会があり、ひきこもり家族を対象にした家族学習会やひきこもり支援セミナーなどを開催していると伺っています。

### プレミアム付商品券発行事業について

**問** 10月の消費税率引き上げに伴い、プレミアム付商品券が発行される。本市においても、当初予算で約3億9,000万円が計上されているが、その制度内容と周知方法

### についてお聞きする。

**答** 今回のプレミアム付商品券発行事業は、市民税非課税の方と3歳未満の子育て世帯の世帯主を対象として2万円分の商品券を購入すれば、5,000円分のプレミアムがつくものです。

市民税非課税者については、7月下旬ごろに市から申請関係書類を送付しますので、購入を希望される方は申請書をご提出いただき、課税されている人の扶養親族等の審査を行った後、該当者へ商品券購入引換券を送付します。また、3歳未満の子育て世帯については、申請は不要で、市から該当者に商品券購入引換券を交付します。

商品券は10月以降に市が指定する商品券販売所で購入いただくことになります。使用可能店舗、期間等については商品券購入引換券を交付する際にご案内する予定としています。

なお、これらの要件、手続等の周知については、該当者への申請のご案内や購入引換券交付時の案内に加え、広報おおよす7月号や市のホームページでお知らせをする予定です。